

kanamoto ■ カナモトエグザミナー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.89

第55期(2019年10月期)第3四半期号

社会インフラとしての「建機レンタルの使命」

当社は、全国に約200、グループ全体では500以上の拠点を展開。グループのネットワークをフル活用し、土木・建築をはじめ、現場から寄せられるすべての声にお応えするサービスを提供しています。

日本国内で約62万点という充実のラインナップ

当社が保有するレンタルアイテムは約1,100機種62万点。サイズバリエーションや各種オプションアイテムも豊富にご用意しています。

全拠点で万全のメンテナンス体制を確立

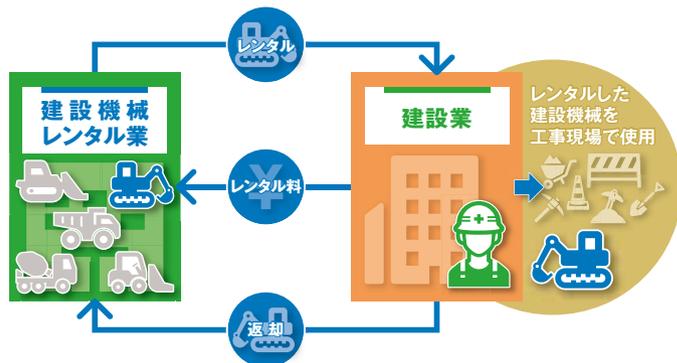
高品質なアイテムを、安定的に供給するため、高い技術をもつメンテナンススタッフを配置し、レンタル機の性能を最大限に発揮させるため日々入念な整備を行っています。

建機調達のスタンダードとなっている「レンタル」

必要なときに必要な数だけ、期間を決めて使用できる効率性が、大幅なコスト削減や事務処理の簡素化を推進し、経営のスリム化を実現します。その多大なメリットから、日本の大多数の建設会社がレンタルを利用しており、現在の建設機械のレンタル化率は60～80%といわれています。

インフラ整備をはじめとする公共工事の増加や災害復旧・復興工事、オリンピック関連のプロジェクト工事も多数計画・進行中であることから、建機レンタル業界の売上規模はここ10年で倍増し、現在は1兆円を超えるマーケットとなっています。

■ 建機レンタルの仕組み



■ 建機レンタルを利用する主なメリット

- 1 建機の購入代金などの設備投資費用を、最大限に軽減できる
- 2 先進機能を搭載した機種を、いつでも調達・使用できる
- 3 建機の保管場所を確保する費用・手間ともに不要
- 4 建機の維持管理などのメンテナンス費用は貸主（レンタル業者）が負担（オイル・消耗品は除く）
- 5 毎月の減価償却や固定資産税・保険料などの費用発生にともなう煩雑な経理処理が不要

国内営業基盤の拡充：当社の営業拠点数は202拠点、当社グループ合計では509拠点に

■ 2019年10月期（第55期）に8拠点を新設



2019年8月31日現在



MAP凡例
■ カナモト
■ アライアンスグループ

第55期第3四半期決算の概況 [2018年11月1日～2019年7月31日]

●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第55期第3四半期	133,823 (7.0)	13,229 (△1.4)	13,580 (△0.6)	8,550 (3.6)	220.97
第54期第3四半期	125,075 (7.0)	13,415 (10.9)	13,659 (9.7)	8,255 (5.2)	233.60

●連結業績予想(累計)

第55期通期	175,700 (4.5)	18,400 (4.5)	18,700 (4.3)	12,000 (1.2)	310.12
--------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

[経営環境]

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善が継続し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題、地政学的リスクの高まりなど、景気の先行きについては不透明な状況で推移しております。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資の底堅い動きや、民間建設需要の緩やかな増加が見られる一方、慢性的な建設技能労働者不足、資機材価格の高止まりなど、注視すべき状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、長期ビジョン「BULL55」(2015年度～2019年度)の最終年度を迎え、3つの基本方針「国内営業基盤の拡充」「海外展開」「内部オペレーションの最適化」のもと、持続的な企業価値創造へ向け、グループ全体の効率的な収益機会を確保するための地域戦略や設備投資を積極的に推進いたしました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は1,338億23百万円(前年同期比7.0%増)となりました。利益面につきましては、現行の施策展開に伴うコスト増により営業利益は132億29

百万円(同1.4%減)、経常利益は135億80百万円(同0.6%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億50百万円(同3.6%増)となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

主力事業である建設関連におきましては、東京五輪関連のインフラ整備や再開発事業など、大型プロジェクトが多数進行している大都市圏や、北海道、九州、西日本の災害復旧・復興工事も本格化しており、建設機械のレンタル需要は旺盛な状況で推移いたしました。

なお、中古建機販売につきましては、適正な資産構成を維持するため、期初計画に基づき自社機の売却を行ったことから、売上高は前年同期比11.3%増加となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は1,199億65百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は122億30百万円(同2.3%減)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連、福祉関連ともに堅調に推移したことから、売上高は138億57百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は6億82百万円(同12.1%増)となりました。

■ 連結財務諸表

四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）

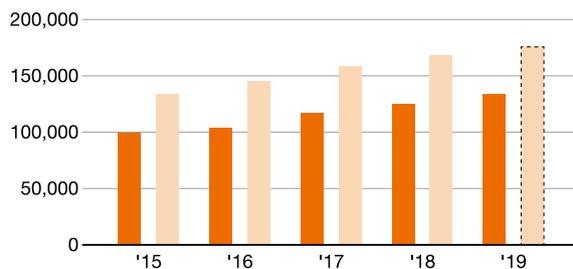
(単位:百万円)	第54期第3四半期 (2017.11.1~2018.7.31)	第55期第3四半期 (2018.11.1~2019.7.31)
① 売上高	125,075	133,823
売上原価	86,900	94,552
売上総利益	38,175	39,271
販売費及び一般管理費	24,759	26,041
② 営業利益	13,415	13,229
営業外収益	586	639
営業外費用	342	289
③ 経常利益	13,659	13,580
特別利益	18	67
特別損失	290	122
税金等調整前四半期純利益	13,388	13,525
法人税、住民税及び事業税	4,370	4,320
法人税等調整額	125	32
四半期純利益	8,892	9,172
非支配株主に帰属する四半期純利益	636	622
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	8,255	8,550

四半期連結包括利益計算書（第3四半期連結累計期間）

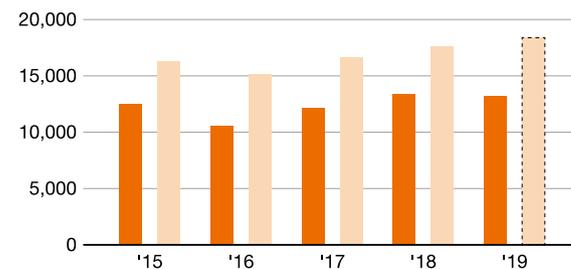
(単位:百万円)	第54期第3四半期 (2017.11.1~2018.7.31)	第55期第3四半期 (2018.11.1~2019.7.31)
四半期純利益	8,892	9,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 215	△ 379
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 0
為替換算調整勘定	24	△ 120
退職給付に係る調整額	△ 0	△ 0
その他の包括利益合計	△ 192	△ 501
四半期包括利益	8,699	8,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,068	8,053
非支配株主に係る四半期包括利益	630	617

■ 第3四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

① 売上高



② 営業利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第54期 (2018.10.31)	第55期第3四半期 (2019.7.31)
(資産の部)		
流動資産	96,448	106,674
固定資産	144,926	151,557
有形固定資産	129,508	137,747
無形固定資産	1,580	1,567
投資その他の資産	13,837	12,242
資産合計	241,374	258,232
(負債の部)		
流動負債	74,267	74,123
固定負債	65,075	65,429
負債合計	139,342	139,552
(純資産の部)		
株主資本	93,526	110,903
資本金	13,652	17,829
資本剰余金	14,916	19,324
利益剰余金	67,086	73,758
自己株式	△ 2,129	△ 9
その他の包括利益累計額	2,153	1,657
その他有価証券評価差額金	2,148	1,773
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	-	△ 120
退職給付に係る調整累計額	5	4
非支配株主持分	6,351	6,119
純資産合計	102,031	118,680
負債純資産合計	241,374	258,232

とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で100名様に当社ノベルティグッズをお贈りします。今号のプレゼントは、カナモトのオリジナルダイアリー手帳2020年版です。

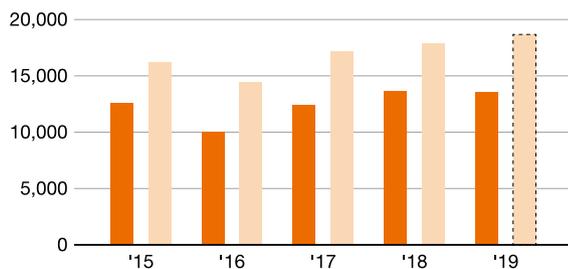
表紙には手触り良く弾力性に富んだ、汚れに強い塩化ビニールを使用。レイアウトはスケジュール管理のしやすいプロジェクトタイプを採用、集計ページも多く、サイズは縦17.4cm×横8.5cmと使いやすい一冊です。

ご応募の締め切りは2019年11月8日(金)当日消印有効です。

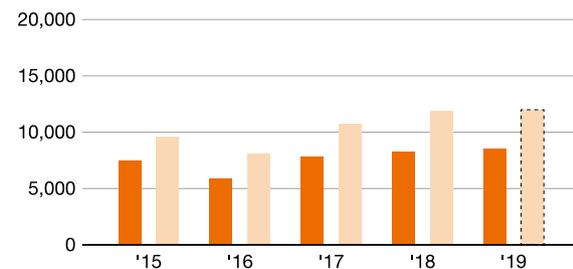
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



③ 経常利益



④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



TOPICS

IR 関係

事業関係

イベント

3Q 2019.5

- 佐久営業所（長野県佐久市）を開設
- 成瀬ダム営業所（秋田県雄勝郡）を開設
- サクソスフェア in 第一機械産業（奄美）を開催
- CSPI-EXPO（建設・測量生産性向上展2019）に出展（幕張メッセ）
- サクソスフェア in 新庄を開催

2019.6

- 山梨南営業所（山梨県西八代郡）を移転
- 建設技術公開EE東北'19に出展（夢メッセみやぎ）
- 第55期（2019年10月期）第2四半期決算発表
- サクソスフェア in 大館、新潟、第一機械産業（鹿屋）を開催
- 第55期（2019年10月期）第2四半期決算説明会を実施（機関投資家向け）
- サクソスフェア in 帯広、福島、水戸を開催
- サクソスフェア in 函館、石巻、高崎を開催

2019.7

- 木更津営業所（千葉県木更津市）を開設
- ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 札幌に参加
- 宇都宮中央営業所（栃木県宇都宮市）を開設
- サクソスフェア in 苫小牧を開催
- サクソスフェア in カンキ（神戸）を開催
- サクソスフェア in 青森、山梨南を開催
- ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 富山に参加
- サクソスフェア in 盛岡を開催

4Q 2019.8

- 天井設備材の取付をアシストする専用機械「アップロー」を開発
- 京都営業所（京都市南区）を開設
- 小田原機械センター（神奈川県小田原市）を開設
- 日経IR・個人投資家フェア2019に出展（東京ビッグサイト）
- 北広島営業所（北海道北広島市）を開設

2019.9

- 2019全球工程機械産業大会でKCIが「中国総合レンタル企業5強」等を受賞（北京）
- 第55期（2019年10月期）第3四半期決算発表
- サクソスフェア in 旭川、第一機械産業（鹿児島）を開催
- ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 福岡に参加

Photo Report

東日本大震災の被災各地で進む復興工事



岩手県陸前高田市の防潮堤工事



宮城県気仙沼市の五駄鮒線道路改良工事



宮城県牡鹿郡女川町の学校建設工事



宮城県牡鹿郡女川町の飯子浜復興道路改良工事



宮城県石巻市の大沢川河川改修工事



宮城県名取市の閉上港土質改良工事



宮城県亘理郡山元町の山元道路改良工事



宮城県本吉郡南三陸町の河川改修工事



福島県南相馬市の防潮堤工事



福島県双葉郡双葉町の防潮堤工事

会社概要 (2019年7月31日現在)

商号	株式会社力ナモト(英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	北海道札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964(昭和39)年10月28日
資本金	178億29百万円(払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	38,742千株
連結売上高	1,681億88百万円(2018年10月期)
連結従業員数	3,135名(2018年10月31日現在) (役員、嘱託、臨時社員を除く)

株主メモ

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先	

役員 (2019年7月31日現在)

代表取締役会長	金本 寛中	常勤監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	成田 仁志*	監査役	橋本 昭夫
	金本 龍男*		生島 典明
	平田 政一*		松下 克則
	磯野 浩之*	執行役員	熊谷 浩
	長崎 学*		問谷 悟
	麻野 裕一*		北川 健
	橋口 和典*		渡部 純
	内藤 進		佐藤 信幸
	及川 雅之		中谷 秀樹
	米川 元樹		廣瀬 俊
			山下 英明

(注1) *印の取締役は、執行役員を兼任しております。
(注2) 取締役内藤進氏及び取締役及川雅之氏、取締役米川元樹氏は社外取締役であります。
(注3) 監査役橋本昭夫氏及び監査役生島典明氏、監査役松下克則氏は社外監査役であります。
(注4) 社外監査役直井院氏は、2019年4月29日に逝去され、同日をもって監査役を退任いたしました。

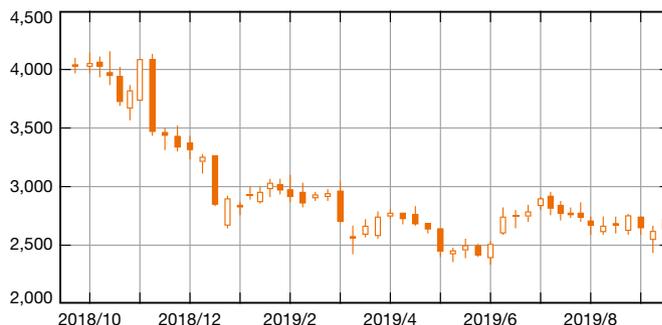
当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。
<https://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関する各種手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価チャート (週足)

単位: 円





本誌は、ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札証 証券コード9678)

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19
Tel:(011)209-1600(大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7
Tel:(03)5408-5600

<https://www.kanamoto.co.jp>